

コキンちゃんって、いつからいるの??

帯広市医師会
北斗病院

友田 博行

「アンパンマンが嫌いな子どもはいない」といわれるように、私も子どもの頃はアンパンマンが大好きでした。よく不二家のお菓子のおまけに付いていたアンパンマンのキャラクターシールを集めたものでした。子どもがアンパンマンを好きになる理由は定かではありませんが、顔が丸く、左右対称性をもつ物体に子どもは自然と惹かれるという報告もあるようです。また、登場するキャラクターが覚えきれないほど多く、子どもが飽きないのも理由かもしれません（実際、2009年7月には「最もキャラクターの多いアニメ」としてギネス認定されています）。

現在、二児の父親になりましたが、長男（4歳）、長女（2歳）、ともにやはりアンパンマンのキャラクターが大好きになりました。長男は新幹線や電車の方が好きですが、長女はアンパンマンにのめり込んでしまい、今やアンパンマン中毒で、部屋はアンパンマンのおもちゃで溢れかえっています。

キャラクターの中でも、アンパンマン、バイキンマン、ドキンちゃんなどの定番キャラクターが好きなのは分かりますが、あかちゃんまん、てっかのマキちゃん、アンパンマン号、だだんだんなど、比較的マイナーと思われるキャラクター・乗り物にも長女は想いをはせています。

そんな中、コキンちゃんというキャラクターも大変好んでいるようです。コキンちゃんは一見、ドキンちゃんそっくりですが、カラーはオレンジ色ではなく水色をしており、子どもの頃アンパンマンフリークであった自分でも知りませんでした。コキンちゃんについて調べてみると、コキンちゃんはドキンちゃんの妹分で、2005年10月に発売された『アンパンマンとあおいなみだ』という絵本で初登場しており、自分が知らなかったのも納得でした。

それにしても、原作者であるやなせたかしさんは94歳でお亡くなりになるまで、精力的にお仕事をされており本当に感心します。私も少しでも見習って、明日からの診療を元気よく頑張りたいと思います。

健康まちづくりキャラクター 「ぼっぴい」

札幌市医師会
札幌市北区保健福祉部健康子ども課

中西 香織

札幌市北保健センターで働き始めてもうすぐ2年になります。

北区は札幌市の10区の中では3番目の広さの区で、人口は約28万人と札幌市全体のおよそ15%を占め、10区中1番の規模となっています。

健康づくりに関しても熱心に取り組んでいる区で、「北区健康づくり協議会」を各連合町内会、地域の健康づくりグループ、札幌市医師会、札幌市歯科医師会、健康をまもるつどいといった関係機関、行政とで平成16年に設立し、「ウォーキングプロジェクト」「食育プロジェクト」「タバコプロジェクト」の3つの領域で北区民の健康の増進のための活動を行っています。

北区は自然が豊かであり、大小多くの河川が流れており、屯田防風林や創成川沿いのポプラ並木など、美しい並木が多く、心地よくウォーキングできるコースがたくさんあります。

そんな、北区の自然から飛び出してきたポプラの妖精がいます。

その名は「ぼっぴい」。

ポプラの葉をモチーフとして、服は新琴似の憩いの水場・安春川をイメージし、胸には札幌市の赤い星マーク、尻尾は北大が有名なイチョウの葉、頭の飾りはポプラの綿毛です。平成28年に行われた市民交流ウォーキング大会のキャラクターとして、応募80点の中から最優秀賞に選ばれた作品です。

なかなか、可愛い妖精さんで、見かける人を笑顔にしてくれます。これからますます、北区民の健康の増進を助けてくれるのではないかと思います。

どこかで、見かけましたら、ぜひ、「ぼっぴい！」とお声掛けください。

